



いも煮で元気を出して (市の避難所で議員が炊き出しのボランティア)

# さがえ

市議会だより

2011年4月20日

No.109

## 3月定例会

第1回臨時会・第2回臨時会

### 主な内容

- 審議した議案の結果…………… 2～5P
- 一般質問…………… 6～10
- 議員が災害ボランティアほか…………… 10
- 意見書…………… 11
- 市民の声
- あらがまち紹介ほか…………… 12

■発行 寒河江市議会  
■編集 市議会だより編集委員会

この市議会だよりの用紙は再生紙を使用しています。

# 3月定例会

3月定例会は、2月28日から18日間の会期で開かれ、補正予算9件、新年度予算10件、条例改正等12件の合計31議案を審議した結果、原案のとおり可決されました。また、請願2件、陳情1件が採択となり、議案案5件が可決されました。



**お見舞い**  
東日本大震災で被災された皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。一日も早く復興されますようお祈り申し上げます。  
寒河江市議会

## 議案に対する 主な質疑

### 特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正について

**議員** 新設される情報システム専門員と納税相談員の仕事の内容はどういうものか。また、これまでの国保相談員を廃止すると、市税の訪問徴収は行わなくなるのか。

**答弁** 情報システム専門員は、システムの構築やパソコン技術指導、入力業務が主な仕事で、納税相談員は、納税相談や収納、督促・催告、差押等滞納整理の補助などを行います。また、市役所に来られない人のためには、引き続き訪問徴収を行います。

**議員** 情報システム専門員と納税相談員は、どういふ人を雇用するのか。

**答弁** 情報システム専門員の資格要件は、経済産業省が認定する情報処理技術者の資格と、キーパンチの実務経験がある人です。また、納税相談員は、65歳以下で市税を完納している人を公募します。

### 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

**議員** 山形県東京事務所に職員を派遣する趣旨、人数、期間、派遣の効果は。

**答弁** 今回の派遣は地方自治法に基づく派遣で、職員は市と県の併任の身分となり、給料は市が負担します。派遣人数は1名で、派遣期間は2年程度を予定しており、県職員と一体となって企業誘致活動を進め、市への情報提供、企業訪問の足掛かりなどのメリットや職員研修としてのメリットもあると考えています。

### 乳牛導入資金貸付基金条例の廃止について

**議員** 基金の利用状況と関係団体との協議状況は。

**答弁** 現在の市内の酪農家は9戸で、過去8年間で1件49万円の利用がありました。酪農家団体や農協と協議した結果、今後基金の利用は見込めないことから廃止について了解を得ました。

### 中学校給食費徴収条例の制定について

**議員** 教育現場は大変であり、給食費の未納も拡大が心配されている。小学校給食費の徴収も同じ方式が良いのではないか。

**答弁** 小学校は自校調理で、各学校が工夫し、定着しているという事実上の重みがあります。給食費の徴収方法は、本来同一方式が望ましいと思いますが、中学校はセンター方式で一括のやり方しかなく、まずはこの方式で実施し、小学校については、動向を見ながら今

後検討させていただきます。



**議員** 中学校の給食費の納付方法は。また、子ども手当からの給食費の天引きは実施するのか。

**答弁** 給食費の納付は口座振替で行います。子ども手当からの天引きについては、現在、国会審議中であり、当面は、口座振替で徴収する準備をしています。

### 常任委員会が変わります

寒河江市議会委員会条例が一部改正され、改選後の議会から、**総務**→**総務文教**、**厚生経済**→**厚生**、**建設文教**→**建設経済**の3常任委員会に変更になります。

# 予算特別委員会

## 主な質疑

### 平成22年度一般会計 補正予算（第9号）

**委員** 農業費が大きく減額になった理由は。

**答弁** 県の補助事業が創設されたため県の補助で対応したもので、市単独の補助事業は不用額として減額になったものです。また、畜産農家が、予定していた補助事業を取りやめたため、不用額になったものです。

### 平成23年度一般会計予算

**委員** 市税の電話納付案内

事業について、内容と効果の目標はどのくらいか。

**答弁** 新たに滞納者を出さないため民間委託によるコールセンターを設置し、納税案内するものです。費用対効果は約1200万円程度と見込んでおり、累積滞納の抑止、納税者に対する未対応の解消などの効果も考えられます。

**委員** 子ども手当について、22年度の補正予算で2億円減額しているが、新年度予算でも同様の金額を計上しており、また年度末に減額なるのではないのか。



郷間正観氏から寄贈された絵画「希望之星」（議会ロビーに展示）

**答弁** 22年度の補正予算は、公務員についても支給対象としていたものが、所属長から支給されることになったための減額であり、23年度は精査して積算しております。



**委員** 保育所の臨時職員の人数と賃金はいくらか。また、生活保護受給者の自立に対する対応はどのように行っているのか。

**答弁** 臨時保育士は35人で、賃金は1日6900円です。生活保護受給者の自立については、生活保護費を支給してそれで終わりではなく、

これまでも、窓口で相談しながら、自立する方向で指導し、現場でも研究しながら対応しています。

**委員** ごみのリサイクルを推進するため補助事業を拡大すべきと思うが、生ごみ処理機の補助対象は何基か。また、合併処理浄化槽への移行を進めるため、単独処理浄化槽の撤去も補助対象とすべきではないか。

**答弁** 生ごみ処理機の補助は5件を想定しています。単独処理浄化槽の撤去費の補助については、平成23年度に市町村設置型合併浄化槽事業の詳細を決めていますので、その検討内容に入ってくるかと思えます。

**委員** 下水道や合併浄化槽の普及によって、し尿処理量が少なくなっているが、施設の改修となると、莫大な経費がかかる。下水道の終末処理場で処理すれば住民負担が少なくてすむのではないか。

**答弁** 周辺の処理場でもそちらに移行しているところもあり、いろいろ課題もありますが、下水道での処理に向けて積極的に検討していきたいと思えます。

**委員** 花咲かフェアの事業費2300万円、昨年度より200万円減った理由は。

**答弁** 会場の花の数は減らさず、センターハウスでのイベントを減らしたいと考えています。

**委員** 消防ポールは、先端にスピーカがついているが大雪で雪が積もって音が聞こえない。コンパクトなものとか、雪に強いものを設置すべきではないか。

**答弁** 来年度5台設置しますが、四方にスピーカが向いている形を基本としています。スピーカは大きい音量で、聞こえる範囲も広く、また、地上から放送もできるものとなっています。

### 3月定例会の提出議案と議決結果

議案番号	議案名等	議決結果
議第3号	平成22年度寒河江市一般会計補正予算(第9号) 子ども手当支給事業費の減額、病院事業会計負担金・補助金、三泉小学校公共下水道工事費の追加等により、1億8,933万1千円を追加するもの	全会一致で可決
議第4号	平成22年度寒河江市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 公共下水道建設事業の年度内完成が困難なため、翌年度に繰り越しするもの	全会一致で可決
議第5号	平成22年度寒河江市国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 医療費の増加等による療養諸費・高額療養費、共同事業拠出金等の追加により1億2,765万3千円を追加するもの	全会一致で可決
議第6号	平成22年度寒河江市老人保健特別会計補正予算(第2号) 後期高齢者医療制度実施以前の求償額の確定による精算を行うもの	全会一致で可決
議第7号	平成22年度寒河江市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 後期高齢者医療保険料等納付金691万1千円を追加するもの	全会一致で可決
議第8号	平成22年度寒河江市介護保険特別会計補正予算(第3号) 介護認定審査会共同設置特別会計繰出金の減額等を行うもの	全会一致で可決
議第9号	平成22年度寒河江市介護認定審査会共同設置特別会計補正予算(第1号) 介護認定審査判定会議の開催件数の減少に伴い、委員報酬の減額を行うもの	全会一致で可決
議第10号	平成22年度寒河江市立病院事業会計補正予算(第2号) 他会計補助金、繰上償還に伴う企業債及び償還元金の追加により、予算総額を19億1,565万4千円とするもの	全会一致で可決
議第21号	寒河江市課制条例の一部改正について 総合政策課を政策推進課に改め、商工観光課を商工振興課と情報観光課に改めるなど、市の組織について改正するもの	全会一致で可決
議第22号	寒河江市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正について 中学校給食運営委員会委員、情報システム専門員、納税相談員の新設など	全会一致で可決
議第23号	寒河江市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について 山形県東京事務所職員を派遣することに伴い、地域手当等を規定するもの	全会一致で可決
議第24号	一般職の職員の旅費に関する条例の一部改正について 山形県東京事務所職員を派遣することに伴い、赴任の意義を改正するもの	全会一致で可決
議第25号	寒河江市地域活性化基金条例の一部改正について 国の交付金の活用期限に合わせ、条例の期限を延長するもの	全会一致で可決
議第26号	寒河江市乳牛導入資金貸付基金条例の廃止について 酪農家数の減少に伴い、基金利用が見込めないことから、条例を廃止するもの	全会一致で可決
議第27号	寒河江市立保育所保育の実施に関する条例の一部改正について 新たに民間の認可保育所が設置されることに伴い、条例の題名を改正するもの	全会一致で可決
議第28号	寒河江市国民健康保険条例の一部改正について 暫定的に引き上げていた出産育児一時金を42万円の支給額に定めるもの	全会一致で可決
議第29号	寒河江市農業委員会委員の選挙区及び定数に関する条例の一部改正について 定数16人を15人に、第5選挙区3人を2人に改めるもの	全会一致で可決
議第30号	寒河江市中学校給食費徴収条例の制定について 中学校給食の実施に伴い、給食費等の徴収などについて定めるもの	全会一致で可決
議第31号	寒河江市西村山郡介護認定審査会共同設置規約の一部変更について 介護認定審査会委員に委嘱する歯科医師数の増員などを行うもの	全会一致で可決
議第32号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について 幸生辺地、田代辺地に係る公共的施設の整備計画を策定するもの	全会一致で可決
議第33号	平成22年度寒河江市一般会計補正予算(第10号) 白岩陣ヶ峯地内市道の路肩崩落の災害復旧費950万円を追加するもの	全会一致で可決
議会案第1号	寒河江市議会委員会条例の一部改正について 寒河江市課制条例の一部改正並びに委員会構成の見直し等により改正するもの	全会一致で可決
請願第1号	2011年度山形県「住宅リフォーム助成制度」に関し、使い勝手の良い制度を求める意見書の提出に関する請願	全会一致で採択
請願第2号	脳脊髄液減少症(低髄液圧症候群・低脊髄圧症候群・外傷性頸部症候群・外傷性髄液漏れ等)の医療に関する意見書の提出に関する請願	全会一致で採択

陳情第1号	住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める意見書の提出に関する陳情	多数で採択
-------	---------------------------------------	-------

※請願・陳情の採択を受け、意見書提出に係る議会案4件が可決され、各意見書は、市議会から直ちに山形県や関係省庁に送付しました。

## 平成23年度各会計の予算額と審議結果

(単位：千円、%)

議案番号	会計別	予算額	対前年度増減率	審議結果
議第11号	一般会計	15,050,000	2.0	多数で可決
議第12号	公共下水道事業特別会計	1,755,457	△4.3	全会一致で可決
議第13号	簡易水道事業特別会計	5,324	53,140.0	全会一致で可決
議第14号	国民健康保険特別会計	4,192,738	5.5	多数で可決
議第15号	後期高齢者医療特別会計	402,994	2.3	多数で可決
議第16号	介護保険特別会計	3,042,009	4.7	多数で可決
議第17号	介護認定審査会共同設置特別会計	25,789	3.7	全会一致で可決
議第18号	財産区特別会計(高松・醍醐・三泉)	676	△14.2	全会一致で可決
議第19号	市立病院事業会計	2,181,170	5.2	多数で可決
議第20号	水道事業会計	1,600,867	△2.6	全会一致で可決
総予算合計		28,257,024	2.3	

## 賛否表 (下記以外は全会一致で可決)

議案名	議員氏名等																	
	2 沖津一博	3 石山忠	4 辻登代子	5 工藤吉雄	6 杉沼孝司	7 國井輝明	8 木村寿太郎	9 鴨田俊廣	10 佐藤毅	11 松田孝	12 石川忠義	13 新宮征一	14 伊藤忠男	15 佐藤陽子	16 川越孝男	17 那須稔	18 鈴木賢也	
第1回臨時会																		
議第1号 平成22年度寒河江市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回定例会																		
議第11号 平成23年度寒河江市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第14号 平成23年度寒河江市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第15号 平成23年度寒河江市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号 平成23年度寒河江市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第19号 平成23年度寒河江市市立病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号 住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める意見書の提出に関する陳情	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会案第5号 住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 ▲は棄権 -は欠席



2月21日に臨時会が開かれ、大雪による除排雪経費等3540万円を追加する一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認、及び「新第5次寒河江市振興計画基本構想」について、全会一致で原案のとおり承認・可決されました。

**第2回臨時会**  
1月21日に臨時会が開かれ、子宮頸がん等予防ワクチン接種に係る事業費、市道下釜山岸線整備事業費、小中学校耐震化事業費など、5億5949万2千円を追加する一般会計補正予算(第7号)が、賛成多数で原案のとおり可決されました。

**第1回臨時会**  
1月21日に臨時会が開かれ、子宮頸がん等予防ワクチン接種に係る事業費、市道下釜山岸線整備事業費、小中学校耐震化事業費など、5億5949万2千円を追加する一般会計補正予算(第7号)が、賛成多数で原案のとおり可決されました。

## 国民健康保険について



佐藤 陽子 議員

市町村で運営している国民健康保険事業を、国は県ごとに広域化し、自治体の負担を軽くするというが、広域化のメリット、デメリットをどのように考えるか。

保険料の統一化によって、逆に保険料が上がり、滞納が増え、徴収が厳しくなるなど、広域化により住民の実態からかけ離れた運営になるのではないか。国の財源を増やさない限り解決は出来ない。国庫負担を増やすよう働きかけるべきではないか。

市長 広域化することのメリット、デメリットについては、県の広域化支援方針がまだ示されていない状況ではありますが、一般的にメリットは保険財政の安定化や保険料の平準化により負担の公平性が図られることであり、また、デメリットとしては医療機関の偏在による医療環境の格差等があると感じております。国における医療制度改革の動向や社会保障と税の一体改革の動きなど、なお不透明な

要素も多いので、今後とも十分見極めながら、国・県への要望を引き続き行っていかなければならないと考えております。

### 国民健康保険法第44条について

医療費の未払いが増えている。国民健康保険法第44条では、低所得者の医療費未払いについて減免の制度があり、平成22年9月に国から運用の基準が示されている。

本市でも、患者の医療中断や受診できない事態を無くすため、また、医療機関の未払い解決のため、実行ある取り組みをすべきと思うがどうか。

市長 市町村国保の財政負担も発生することから、実効性のあるものにしていくために、要綱制定の検討を進めているところであります。なお、これまで同様に、相談や申請がなされた場合には、法の趣旨に沿い、個々のケースに応じて、調査・審査し、総合的に判断してまいりたいと考えております。

## 高校再編問題について



新宮 征一 議員

少子化による生徒数減少等から、寒河江高校と谷地高校、寒河江工業高校と左沢高校を組み合わせたキャンパス制を導入し、寒河江工業高校は1学級減の3学級とし、寒河江高校果樹園芸科は平成25年度に募集停止し、左沢高校に統合するという西村山地区の高校再編案が県教育委員会から示された。

当方は、現在の校名をそのまま残すとしており、現時点ではそれほど心配はないものの、今後の推移によっては、寒河江高校は残るにしても寒河江工業高校は左沢高校に編入されることが懸念される。将来的には、寒河江高校果樹園芸科を寒河江工業高校に編入するなど、進学校である寒河江高校と、実践型高校としての寒河江工業高校の2校を寒河江市に残すことが市民共通の願いであると思う。

今後は、市や議会、各同窓会、PTAなど関係者が一体となった組織を作り、市民の声を積極的に訴えていくべきと思うがどうか。

市長 県教育委員会の計画に対しては、普通科と専門学科のキャンパス制による連携よりは、工業科と農業科の専門学科同士の連携の方が一般的に理解されるのではと考えております。また、寒河江高校農業校舎の寒松同窓会からは果樹園芸科の存続を求める強い声があり、さらに、寒河江工業高校についても学級数減への懸念や将来への不安の声があるなど大きな課題があります。このため、議会、寒松同窓会、寒河江工業高校同窓会とともに、高校再編は学校関係者や地域の声を十分尊重して進めるように、県及び県教育委員会に要望書を提出したところであります。

今後も寒松同窓会等への説明、話し合いが行われると思われませんが、状況を注視するとともに、要望の趣旨に反して進むという状況が見られるようであれば、新たに関係者や市民が丸となった行動を起こしていくことも必要であると考えております。



## 大学と地方行政の係わりについて

木村 寿太郎 議員

を模索したいと考えております。

### クマによる被害と実態について

全国的に地方は疲弊し、行政の力だけでは活性化に向けた成果が表れていない現状である。これからは、地方の特性を生かし、競い合い、輝き合えるように、地域のこととは地域住民自らの責任で決定していかねばならない。今、大学と地域が連携し、知恵を出し合いながら興味深い取り組みを行い、成功している例が数多くある。本市においては、過去に大学とどんな連携が行われ、今後どのような連携を考えていくのか。

**市長** 官学連携については、新商品開発等の際し、新たな発想や適切なアドバイス等が期待でき、また、専門家との人脈構築により研究能力の向上や人材育成につながるものと認識しております。

本市では、これまでも各種審議会の委員等として、また、様々な講座の講師等として参加いただいております。今後は、技術改良等の産業面や地域づくりのアドバイザー参加など、効果的な連携方法を

昨年秋以降、全国でクマ騒動が相次いだが、本市における昨年のクマの目撃情報・捕獲頭数や農作物も含めた被害はどれくらいか。また、猟友会の高齢化や会員の激減により、今後は補助金等も含めた緊急の対策が必要である。保護と駆除のルールづくりなど共存共栄が最終目標であると思うが、ご所見を伺いたい。

**市長** 平成22年度は目撃情報が44件、人的被害が1件、捕獲頭数が6頭であり、農作物の被害は、12月末現在で、790万円、213アールとなっております。

有害鳥獣捕獲対策会議を開催し、捕獲申請等の対策を話し合うとともに、猟友会に対して追加の財政支援を行っております。今後も、県や猟友会等と連携を密にしながら共存共栄の道を探っていきたいと考えております。



## 地域特性を生かした農業振興について

石山 忠 議員

考慮し対応してまいります。

### ファミリースキー場の設置について

農地流動化、農用地利用集積等により、耕作放棄地や遊休農地の再利用を推進し、農地の効率かつ合理的な利用促進を図ることにより畑作物の生産増大を図り、新たなブランド化を進めるべきと思う。そのため、新規事業の創意工夫プロジェクト事業を拡大し、認定農業者や農業生産法人等を対象に、サクランボのほか土地利用型畑作経営の確立のため、国、県及び市の支援により新たな野菜ブランドを育てるべきと思うがどうか。

**市長** 平成23年度に採択された「創意工夫プロジェクト支援事業」により、中山間の耕作放棄地を活用したニンニク栽培、加工による6次産業化や地域の雇用創出に市としても支援し、事業の推進と耕作放棄地の解消に努めてまいります。野菜のブランド化は、事業に取組む方の掘り起しが課題で、新規就農者への支援と「創意工夫プロジェクト支援事業」を活用し、

地域特性に合った作物の栽培等を

本市の宝である子どもたちの健全な成長を願う「子育て支援」の立場から、ランドマークの長岡山や最上川ふるさと総合公園の高瀬山にファミリースキー場を設置し、生涯スポーツであるスキーを通して子どもたちの健全な成長を支え、ファミリーの絆を深めるとともに、安心、安全に集える場所の実現を望みたい。

**教育委員長** 子ども達の健やかな成長を育む環境整備は新第5次振興計画の最重要課題として、スキー場設置は、その設置目的、規模などで差はありますが、気象条件、地形条件などの課題そして安全管理などの対策が求められます。長岡山にファミリースキー場の適地が見いだせるのか、今後策定される総合的整備計画に位置付け整備が可能か、市関係部局と十分協議し、研究してまいります。

急傾斜地崩落防止対策について



松田 孝 議員

危険区域指定を受け早い場所で40年経過。当時と自然環境が変わり、新たな災害が発生している。未然防止には成木化した樹木の伐採が有効であり、崩落の危険性の高い箇所は、関係者と協議し、樹木伐採を進めてはどうか。また、住宅地や道路に隣接する急傾斜地を対象に環境調査を行い、実態に即した総合災害予防計画を策定し、予防に努めるべきでないか。

市長 急傾斜地の樹木の伐採は、急傾斜地崩壊対策事業を実施する際や人的被害の恐れがある場合に施行者の県に依頼しております。伐採は、災害防止に有効なので地域の方々と一緒に現地調査を行うとともに、安全安心の観点から引き続き県に対して要望してまいります。

市では、県が策定中の土砂災害警戒区域の指定を受け、地域の方々と協働で「土砂災害ハザードマップ」を作成する計画であり、災害予防に努力してまいります。

「寒河江市水道ビジョン」策定について

現在、水道施設更新に向けて第4次拡張事業を実施し、完成は平成26年度の予定だ。この事業の評価も行わず、未完成のままでの水道ビジョン策定は先送りすべきだ。事業の並行で事業費が膨らみ水道料金の値上げが懸念される。第4次拡張事業の評価とビジョン策定の考えを伺いたい。また、水道事業会計は受益者負担が原則であり、多額の余剰金は水道料金の引き下げに回すべきと思うがどうか。

市長 第4次拡張事業は、平成13年から配水池の増設等を行ってきた事業で、施設の最大稼働率も90%を超え、進捗率は72%です。しかし、先に整備された施設の更新整備や耐震化が大きな課題となっており、更新整備計画等を含む水道ビジョンを策定し、効率的に更新整備を進める必要があり、料金の設定についても、その中で十分に検討してまいります。

市政全般について



川越 孝 男 議員

①市道、側溝、水路等の新しい整備基準の策定が遅れている理由と策定時期を伺いたい。

②市庁舎の耐震対策と今後の活用について、平成22年度実施した調査の結果では、耐震補強工事の方法や費用はいくらかかるのか。また、市庁舎の継続使用の可否判断を伺いたい。

③下水道整備を特環（公共下水道）から市町村設置型合併浄化槽への移行に伴い、市民の理解を得る手立てと各地区毎の排水路整備計画について伺いたい。

市長 ①「整備基準」（案）を策定し、庁内の検討会で最終調整をしており、4月から運用いたします。②コア柱間にK型鉄骨ブレースを設置する補強工事等で、概算額は約4億5千万円、他に防災設備等が必要であり、庁舎の継続使用については、検討会の内容を踏まえ判断してまいります。

③地区単位で一層きめ細かに説明し、理解を得てまいります。

地区毎に排水系統の調査を23年度に行い、関係者と調整協議を行い排水計画を策定してまいります。

介護保険制度について

①特養施設の待機者は、介護保険制度の根幹にかかわる問題であり、待機者数とその解消策を伺いたい。

②年金で特養施設の入所費が賄えない人の実態と年金額だけで不足するのはどの層の人たちか。また、その改善策をどうしているのか伺いたい。

市長 ①市内の要介護4・5認定の在宅待機者は1月末現在で63名となっており、23年度末で老人ホーム等3施設59床の増床工事が終了しますので、待機者は、ほぼ解消されると見込まれます。

②現在の入所者210名のうち約2割弱で、ある程度の所得者層以上の方に逆転現象があると認識しております。県を通じて国に対して改善策を求めてまいります。



古式泳法（現日本泳法）水府流太田派  
の市無形文化財指定について

伊藤 忠 男 議員

水交会（寒中、寒高水泳部OB）は、大正12年8月、水府流太田派と出合い伝承し今年で88年。大正15年、最上川岩鼻を水練源とし訓練。過去に、四代師範本田存氏、八代師範山口和夫氏、八木沼範士氏を招聘し指導いただいたが、水交会の高度な游泳術伝承に驚愕された。東北北海道で唯一伝承とのこと。平成16年正式認定加盟。平成21年に免許皆伝を授けられた。市無形文化財の指定を得て、市内小学校、西村山郡学童水泳大会等で游泳術を披露し、伝承を図る一助としたいと考えているが、見解を伺いたい。

教育委員長 市の文化財指定は、市文化財保護条例に基づき、文化財所有者等の申請を受け、市文化財保護委員会が調査・審議し、市教育委員会に指定を答申、それを受けて教育委員会が指定を行っています。「古式泳法水府流太田派」も、保存団体等の指定申請があれば、市文化財保護委員会に調査・

審議をお願いすることになります。また、市や地区の水泳大会での古式泳法の披露については、子どもたちが日本の伝統文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心を育む意味で価値のあることと考えており、教育委員会としても必要な場面で協力したいと考えております。

日本一の鮎捕り大会開催について

寒河江川産の鮎が、その姿、香り、味で、平成19年度に全国第一位のグランプリを獲得している。高松堰上流を会場に、鮎を放流し、素手で、鮎、カジカのつかみ捕り大会を開催し、寒河江から情報発信すべきと思うがどうか。

市長 高松堰は用水路であり、会場にすれば、安全管理、施設管理の面から「高松堰祭り」の中での開催が考えられます。また、この場所は生態系の保全や周辺環境との調和などが図られ、水深も浅く好条件であることから、主催者等と相談してまいります。



市民主体のまちづくりについて

佐藤 毅 議員

①まちづくりの手法に、都市計画事業がある。本市で都市計画決定している都市計画道路や都市公園があるが、これまで約60年以上も経過して、まだ手つかずのものも多くある。都市計画マスタープランの見直しでどのように検討するのか。

②都市計画道路落衣島線の高速道路から南部地区までは、一般道路改良の整備手法に変更してはどうか。

③長岡山一帯の都市公園区域の中にある個人所有の住宅地や農地がまだ手つかずの状態であるが、今後の計画はどうするのか。

④建設事業費の大幅削減に伴い、除雪協力業者の経営が大変になっているが、今後の除雪体制についてどうするのか。

⑤市民浴場の湯量が少なく、源泉枯渇が心配されているが、どうなのか。また、市民浴場の無料入浴者は、市民に限定すべきではないのか。

市長 ①長期に着手されていない都市計画道路や都市公園整備計画も含め都市計画マスタープランを見直してまいります。

②この区間は、歩行者等の安全や車両交差を確保するため、平成22年に待避場を設置しましたが、今後、都市計画道路全体の見直しの中で検討してまいります。

③寒河江公園の整備については、新第5次振興計画の重点プロジェクトとして取り組みを進めてまいります。公園区域の変更は、市民とともに総合的な整備計画を策定する中で検討してまいります。

④「寒河江市除雪協力会」と連携・協力し、委託方式や直営除雪の増強等の対策を講じて万全な除雪体制を確保してまいります。

⑤現在と同じ毎分1100リットルの湯湯を維持していけば、枯渇の心配ないと考えます。身体障がい者の使用料無料化を他市町村に先駆けて実施しており、寒河江市の画期的な取り組みと思っております。

防災行政の取り組みについて



那須 稔 議員

① 自主防災組織の活性化をはかるために、防災の経験者を活用した防災指導員の養成と自主防災組織による安全マップ作成への支援についてどう考えるのか。

② 個別避難支援プランの推進について、郵便により名簿登録への意思表示を確認することについてどう考えるのか。

③ 災害時に、対象区域の住民に対する避難勧告等の判断・伝達マニュアルの策定と、地域住民により自主的に避難所を運営できることを目的とした「避難所設置運営マニュアル」の策定についてどう考えるのか。

④ 要援護者を対象に、救急医療情報キットを活用し無料で配布することにどう考えるのか。

⑤ 災害時の危機管理に役立つ被災者支援システムを導入することについてどう考えるのか。

⑥ 防災センターの設置に当たって、広く識者の声を聞く検討会等の設置についてどう考えるのか。

市長 ① 防災指導員制度については、今後研究・検討してまいります。安全マップ作成には、市としても積極的に支援してまいります。

② 個別避難支援プランの登録に理解を求めていきたいと考えておりますが、ご指摘の事例なども研究してまいります。

③ 今後、水害及び土砂災害についての避難勧告等判断・伝達マニュアルを作成してまいります。地域住民による避難所運営については、地域防災計画の改定の時に検討してまいります。

④ 現在全世帯を対象に無料で配布する「あんしんカード」を作成しており、普及を通し見守り安心力を向上させたいと思います。

⑤ 被災者支援システムの導入については、防災センター整備の検討の中で研究してまいりますと考えております。

⑥ 防災センター設置に向けた検討のあり方について、調査・研究作業と並行して考えてまいります。

避難所でボランティア議員が芋煮の炊き出し



東日本大震災や原発事故などで本市に避難している方々を元気づけようと、

3月28日と4月4日、市の避難所（4日現在避難者51人）で、議員が芋煮を作り食べていただきました。また、4月7日には、宮城県東松島市の避難所に食材と、菓子・みかんを運んで、芋煮と玉こんにゃくを提供。厳しい避難生活を送る皆さんに喜んでいただきました。市議会では今後ともボランティアに取り組んでまいります。

姉妹都市安東市の口蹄疫被害と東日本大震災に義援金

昨年末に韓国・安東市で発生した家畜の口蹄疫被害と、このたびの東日本大震災被害に対し、寒河江市議会議員一同より義援金をお贈りしました。

議会日誌

(1月21日～4月20日)

- 1月
  - 21日 第1回臨時会、全員協議会、議員懇談会、行政視察等報告会
  - 28日 天童市議会との議員懇談会
- 2月
  - 16日 議会運営委員会、会派代表者会議
- 3月
  - 7日 議会運営委員会、会派代表者会議
  - 16日 議会運営委員会
  - 17日 議員懇談会、議会だより編集委員会
  - 22日 会派代表者会議
  - 28日 議員懇談会、災害ボランティア
- 4月
  - 4日 災害ボランティア
  - 7日 災害ボランティア(東松島市)
  - 12日 議員懇談会、議会だより編集委員会
- 21日 第2回臨時会、全員協議会、定例議員懇談会、会派代表者会議、第5回議会基本条例検討委員会
- 23日 議会運営委員会、常任委員長会議
- 28日 議会運営委員会、第1回定例会(～3月17日)、議員懇談会

# 意見書

## 脳脊髄液減少症の医療に関する意見書

脳脊髄液減少症は、脊髄液が減ることによって、頭痛、めまい、悪心、視力障害、耳鳴りなど様々な症状が現れます。現在、この病気に苦しむ患者と家族は、治療費、交通費、宿泊費等の経済的負担にも苦しみ、必要な治療を受けることができないままの状態であり、脳脊髄液減少症の医療に関して、次のことを強く求めます。

1. 生活保護世帯の医療費扶助の患者も治療が受けられるよう、厚生労働省は平成22年4月の事務連絡を撤回し、治療費の保険適用を認めること。
2. 文部科学省と厚生労働省は、国の脳脊髄液減少症の診断・治療法の確立に関する研究班の4年の研究成果と全国の臨床症例を検討し、現時点での学校管理下での児童生徒に対する適切な対応マニュアルを共同で作成し、全国の教育関係機関、国民に対して通知すること。
3. 医師の裁量に基づく治療環境の保険制度（混合診療）を見直し、ブラッドパッチ治療について一日も早く保険適用を行うこと。

（送付先：内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長）

## 2011年度山形県「住宅リフォーム助成制度」に関し、使い勝手の良い制度を求める意見書

県は、景気・雇用対策の展開の中の総合的な住宅対策に「住宅リフォーム費用に対する助成」を新規に実施する予算を提案しました。

提案の中で明らかになったリフォーム工事費用助成の適用になる工事は、「耐震化」「省エネ化」「バリアフリー化」「県産木材使用」の4要件のいずれかを含む工事とされています。しかしながら、この要件を課すことによってリフォーム工事の対象が限られ、景気・雇用対策として十分な成果が得られないことを危惧するものです。

つきましては、県の住宅リフォーム工事に対する支援を、県民のいのちと暮らしを守る県政の根本に立ち、景気・雇用対策をしっかりとやる立場から、住宅リフォーム助成制度が、県民や建設関連の中小業者の期待に添い、使い勝手が良くなるように、適用要件に、「耐久性の向上」、「長寿命化」と「生活環境向上」を加えること、若しくは適用要件を設けないよう要望します。

（送付先：山形県知事）

## 住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める意見書

国家公務員の定員削減計画や国の出先機関及び独立行政法人の原則廃止・地方移管・民営化等を行わず、行政サービスを拡充するよう、以下の事項の実現を要望します。

1. 地域主権改革の名の下で、防災、雇用、社会保障、教育、農業など国民生活に関わる様々な分野での、国の責任放棄によって行政サービスの低下を招くことのないようにすること。
2. 国の出先機関改革にあたっては、廃止や地方移管を当然の前提とすることなく、国の行政責任の明確化と国民に対する責任を果たせる体制をとること。
3. 国民・住民の安心と安全を支える行政の拡充を図るため、必要な人員を確保すること。
4. 独立行政法人の住民生活に対して果たしている重要な役割を重視し、組織及び事業の廃止、民営化等を行わないこと。

（送付先：内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長）

## 脳脊髄液減少症の診断及び治療が可能な医療機関の公開に関する意見書

脳脊髄液減少症は、脊髄液が減ることによって、頭痛、めまい、悪心、視力障害、耳鳴りなど様々な症状が現れるという特徴を持っています。

山形県では、山形大学に国の脳脊髄液減少症の診断・治療法の確立に関する研究班がありながら、現在公表されている医療機関は、全国最低の1か所（非公表9か所）しかなく、県立新庄病院は診断や治療が可能でありながら非公表とされています。

現在、この病気に苦しむ患者と家族は、治療費、交通費、宿泊費等の経済的負担にも苦しみ、必要な治療を受けることができないままの状態です。

よって、山形県においては、県内での診断や治療ができるよう公表医療機関を増やすため、調査範囲を小児科の開業医も含め、県内医療機関の再調査を行い、最新情報をホームページで公開するよう強く求めます。

（送付先：山形県知事）

## 市民の声



八 嶽

大泉 正和さん

東北、関東地方を突然襲った巨大地震と大津波。死者、行方不明者合わせて2万人を超える未曾有の大惨事である。

市や町、村、そして平穩な家庭が、一瞬にしてガレキと化すなど誰が想像しただろうか。

大災害の前には、人間の力は無に等しい。が、然し復興に向けて皆が歩み始めている。

過酷な状況の中で頑張っている自衛隊員、警察官、消防隊員がいる。私たちが何か出来るはずだ。一日も早い復興を願うことも出来る。最前線で活躍している方々にエールを贈ることも可能だ。義援金もしかり。流した汗と涙が報われる日が早く来ることを信じよう。日本人の魂と底力を信じて皆で祈ろう。

## 6月定例会の日程(予定)

- 5月27日 本会議(議案上程、説明)
- 31日 本会議(一般質問)
- 6月2日 本会議(一般質問)
- 3日 本会議(質疑)、予算特別委員会、委員会・分科会
- 6日 委員会・分科会
- 10日 予算特別委員会、本会議(採決)

※いずれも9時30分から開会します。

※日程は変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局(86-2111)にお問合せください。

## 議会の傍聴においでください

本会議を傍聴する際には、住所氏名を記入の上、議場にお入りください。委員会の傍聴は、事前に議会事務局にお申し出ください。

■6月定例会の請願・陳情の提出締め切りは5月23日正午まで(予定)です



元住吉町町会長  
新田耕一郎さん

住吉町は古来、南(みなみ)部落と称されていたが、昭和の合併前に変更した。寒河江城の近くに位置し、お寺も多く寒河江まち並み十景の一つです。近くの小高い丘に船着き観音があり、その大樫の根が西根の名称の由来です。ほなみ団地の地名が木の下です。対岸が東根です。40戸足らずの戸数でしたが、ほなみ団地

造成で60戸になりました。今春には大規模店舗が開店します。若者の定住地としてのほなみ団地は本市のベッドタウンとして人口増加に期待されます。

市役所に通ずる道路山岸下釜線も平成24年3月に開通予定です。道路環境も良く山形駅まで20分圏内に入りました。

今後の課題は、にしね保育所に希望者全員を入所できるよう、行政の決断に期待したい。



## 編集後記

東日本大震災に被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

市議会では、義援金をお贈りするとともに、市内の避難所の皆さんに、これまで2回芋こ汁の炊き出しを行い、大変喜ばれました。また、宮城県東松島市にも芋こ汁と玉こんにゃくの炊き出しに出かけ、大変感謝されました。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、3月定例会では、平成23年度予算を含む31議案が可決され、また、今期をもって勇退する5名の議員にとつては最後の議会となりました。この4月をもって議員任期が満了となりますが、この間、議会、だよりをご愛読いただき、また、様々なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

(鈴木 記)

市議会だより編集委員会  
鈴木・伊藤・工藤・辻・沖津